



我が社の 戦略

専門性の高い調剤薬局の能動的な店舗経営と積極的な事業展開で業績を伸ばしてきた株式会社エフアンドエフ。今後はAI搭載の“健康チェック”ビジネスで日本の健康寿命を延ばすという。その戦略について代表取締役の藤川欣洋氏に話を伺った。

AI搭載の“健康チェックシステム”で日本の健康寿命を延ばす 株式会社 エフアンドエフ

薬局を医療の入口に

政府が「医薬分業」を進める中、「これからは専門性の高い調剤薬局が必要になるに違いない」と確信し、1990年に岩舟町に1号店を開設してから32年。従来のような処方箋に従って薬を渡す受身の薬局に留まらず、「地域のかかりつけ薬局」として利用者の皆さんが気軽に立ち寄り、健康に役立つ。敷居の低い薬局作り」に励んできました。店内に血管年齢やAUC（終末糖化産物）などを測定できる多種多様な健康測定器を設置し、気軽に健康チェックができる工夫や、定期的に「健康まつり」などを開催しそれらの測定器の利用方法や、その測定結果に基づいたアドバイスや薬剤師や管理栄養士から直接伝えてきました。

さらに昨年開発したAI（人工知能）を搭載した独自の「健康チェックシステム」においては、特許申請が国に受理された段階までできています。これは店内に設置したそれぞれの測定器から得た数値を基に、AIが分析評価を行い、利用者一人一人に合わせたオーダーメイドのアドバイスをアプリで提供するシステムです。もちろん紙に印刷してお渡しすることも可能です。なかなか病院や検診に行けない・行かない方々でも、身近な生活圏にある薬局で気軽に測定を重ねることで自身の健康状態をデータベース化でき、いち早く身体



オーダーメイドの結果をスマートフォン(アプリ)での閲覧または印刷物として提供



栃木県の南西部に位置する佐野市は、佐野らーめんやアウトレットモールが人気を集めるほか、豊かな自然と歴史・文化を感じる観光スポットが各所に点在する。その佐野市を中心に調剤薬局をチェーン展開している株式会社エフアンドエフ代表取締役の藤川欣洋さんに佐野市の魅力を伺った。

株式会社 エフアンドエフ 代表取締役

藤川 欣洋さん

PROFILE

佐野市出身。大学卒業後、医薬品卸会社のナカノ薬品に入社。営業マンとして佐野市内を奔走。1990年に独立。岩舟町に開いた調剤薬局を皮切りに株式会社エフアンドエフを設立しチェーン化に取り組む。現在グループ企業も含め50店舗を率いる。趣味はドライブ、クレー射撃、ゴルフ。特にゴルフはハンデ7のシングルプレーヤー。



出流原弁天池

佐野市の一番の魅力は？

佐野市は東北自動車道と北関東自動車道がクロスする高速交通の要衝として非常に利便性が高く、北関東3県が今後益々連携を深めていく上で要の都市と言えるでしょう。また、佐野周辺にはゴルフ場が多いのもファンにはうれしい魅力です。ギネスブックに認定された話題性のあるコースもあるんですよ。

好きな観光スポットは？

私の母が赤見町の出身ということもあり、幼い頃から「出流原弁天池」にはよく行きました。日本名水百選にも選ばれている湧水池で、底まではっきりと見える澄んだ水面に辺りの木々が映り込む様子はとても神秘的で美しいですね。心が洗われるようです。他にも、関東一の山城と称賛された高い石垣がある唐沢山城跡も趣深いところです。城跡内にある天狗岩からは関東平野が一望でき、天気が良ければ富士山や東京スカイツリーも見えるととても清々しい場所です。

おすすめの食べ物？

「佐野らーめん」が有名ですが、郷土料理に「耳うどん」があります。すいとんのようなもので、形が耳に似ていることから「耳うどん」と呼ばれています。鬼の耳になぞられ、正月に食べれば「1年間悪いことを耳にしない。無病息災で過ごせる」などの言い伝えがある縁起物料理として親しまれています。

の変化を察知することが可能となり、早期受診に繋がることができるようになります。受診に向けて、そっと背中を一押しできる「医療の入口」としての役割を薬局が担っていかれたらと考えています。

日本の健康寿命を延ばす

現在このシステムには、特定検診の受診率の伸び悩みを課題とする佐野市をはじめ県内外の自治体にも深い関心を寄せていただいております。昨年9



利便性の高い”医療モール”の展開

佐野市で最初に手掛けた医療モールでは、オリーブ薬局（2019年12月花・花薬局浅沼店に名称変更）を中心に医療施設が集まり、現在は皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・婦人科・内科に拡充し地域医療の核としての役割を果たしつつある。



地域に寄り添う”健康まつり”から”健康チェックシステム”へ進化

今までも、女性が気になる肌年齢や骨密度測定器をはじめ、血管年齢やAGEs（終末糖化産物）の測定ができるなど健康志向の高まりにも対応する機種を揃え、来訪者が気軽に測定できる”健康まつり”を実施してきた。今後はオプションとして血液一滴から可能な腫瘍マーカーの検査サービス「ketsuken」も採用を予定し”健康チェックシステム”の強化を図る。



プライバシーマーク制度とは、「JISQ15001 個人情報保護マネジメントシステム要求事項」に適合した社内の仕組みを構築し、個人情報の取り扱いを適正に実施している事業者に対し、付与機関である一般財団法人日本情報経済推進協会（JIPTEC: ジブテック）が定めるPマークの使用を許諾する公的制度 ※画像はサンプル

の柱の一つに「医療モール」があります。「医療モール」とは同一敷地内に調剤薬局を核に複数の専門クリニックを集めた複合型医療施設を指します。一度に複数の診療科を受診でき、調剤薬局は1か所で済むため利用者にとっても医師の方々にとっても効率的で便利な形態となっています。

さらに今後は、健康チェックシステムを有する我が社の薬局を中心に銀行・ハウスメーカー・医薬品卸会社・保険請求会社（メディコム）で連携し情報を共有することで的確な土地情報や専門医の情報収集に努め、自治体への働きかけも積極的に行っていく方針です。エフアンドエフはこれからも「もっと薬剤師にできること」をモットーに将来の医療環境を見据えた新たな環境づくりへ挑戦し、常に利用者の皆様の健康をサポートする企業であり続けたいと考えています。



未来型医療モール構想

わたくしたちが進めてきた事業展開

この度、個人情報の取り扱いが不可避となる薬局での健康チェックプログラムの運用開始を視野に、日本情報経済推進協会（JIPTEC: ジブテック）が定めるプライバシーマーク（Pマーク）を取得しました。保健医療福祉分野では全国で12番目の取得となります。大切な個人情報を守るセキュリティシステムが構築されていることが評価されました。これは今後、健康チェックプログラムを中心にビジネス展開を進めるうえで、利用者の方々に安心していただけることも社会的信用を高める大きな布石となることでしょう。

プライバシーマークを取得

月に県の医療福祉機器開発に伴う補助金の交付対象に選ばれたことも大きな励みとなりました。将来的にはマイナンバーカードとID連携し、薬情報を取得、さらに利用者本人の健康増進に関する有益情報を提供する仕組みを構築予定で、それに伴う開発費については国の補助金制度にも申請を行ってまいります。国の認可を受けることで全国的に認知を広げ、日本の健康寿命を延ばす「健康チェックビジネス」へと発展していくことを目指しています。



株式会社エフアンドエフ
 (電話) 0283-21-1260 (代表)
 (住所) 佐野市植上町 1479-4
 (URL) <https://e-ff.jp/>

